



令和6年度 川崎市立野川小学校 グランドデザイン



| | | |
|----------------------------|----------------------|--------------------------|
| ○創立 1873 (明治6)年 151年目 | 学校基本情報 | ○学区 南野川 西野川 野川本町 東野川 北野川 |
| ○児童数 868名 (通常級827名 支援級41名) | ○学級数 36 (通常級27 個別級9) | ○職員数 約60名 |

学校教育目標

教育の動向
 今日的課題 ・いじめ、不登校対策
 学習指導要領
 ・知識・技能 思考判断表現 学びに向かう力・人間性
 ・主体的・対話的で深い学び
 ・カリキュラム・マネジメント
 GIGAスクール構想実現に向けて
 障害者差別解消法
 ・インクルーシブ教育

本市の教育施策
 第2次川崎市教育振興基本計画かわさき教育プラン
 ・基本理念 夢や希望を抱いて 生きがいのある人生を送るための礎を築く
 ・基本目標 「自主・自立」「共生・協働」
 基本政策1 人間としての在り方生き方の軸をつくる
 ・キャリア在り方生き方教育の推進

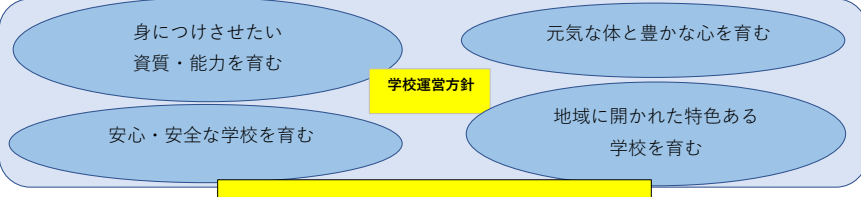
かしくく 【自主・自立】
 意欲と好奇心をもって学習に臨む子、生きる知恵をもった子
 ～学びの楽しさが感じられる授業やわかる授業、達成感が味わえる授業から意欲と好奇心をもって学習に臨む子や生きる知恵をもった子を育てる～

やさしく 【共生・協働】
 自分、他人、集団を大切にすることを心もった子
 ～豊かな情操の育成から自分、他人、集団を大切にすることを心もった子を育てる～

たくましく 【希望・創造】
 心身ともに健康な子
 ～基本的な生活習慣の育成(家庭との連携)や集団での健全な遊びや自分にあった運動から心身ともに健康な子を育てる～

児童生徒の実態・学習状況・学校評価
 ・地域に守られ子どもらしくのびのびとしている
 ・基礎的な知識や技能の習得に課題がみられる
 ・学習に取り組む姿勢に個人差が大きい。
 ・学校の楽しさ、友だちのコミュニケーションは良好といえる
 ・家庭と連携し、家庭学習の習慣化を考える必要がある
 ・個別に問題を抱えている家庭が増えてきている

保護者・地域の願い
 ・尻手黒川線、矢上川に隣接し、明治初期の寺子屋が前身の伝統校で、地域で子どもを温かく見守り、健全な成長を願っている
 ・古くからの住民と新しい住民が融合して落ち着いた地域となってきた
 ・学校教育への理解と協力があり、ボランティアやPTA活動もさかんである



重点目標 及び 課題と方策

P 教育力を高め、身につけさせたい資質・能力の育成を図る

A 連携を強め 学校愛・地域愛の育成を図る

D ふれあいを大切に 認め合う心の育成を図る

C 安心・安全を守り 心身の健やかな育成を図る

①基礎・基本のさらなる定着と主体的に学ぶ意欲の育成
 ・学習指導要領の趣旨を大切に した主体的・対話的で深い学びの推進

②資質・能力育成に向けた教育内容の効果的な編成
 ・カリキュラム・マネジメントによる学習指導計画の策定
 ・指導体制や諸条件の整備と活用

③体力の向上
 ・体育授業の充実とキラキラ活動の推進

④指導力・授業力の向上
 ・校内研究を中心とした実践研究
 ・学び合いによる授業づくり
 ・GIGAスクール構想実現に向けた研修と実践研究
 ・校外研修への積極的な参加

①認め合う学習習慣・生活習慣の育成
 ・聴き合う関係を大切にした学年学級経営の推進
 ・読書活動や読み聞かせの推進

②ふれあい活動の推進
 ・野川のつどい、ひだまりハーモニー集会活動など内容を精選した異学年交流によるふれあい活動の推進
 ・豊かな感性を育む情操教育

③特別活動等を通じた児童の主体的な取り組みの奨励と支援
 ・学年段階に応じた行事や特別活動への児童の参画
 ・個のよさを生かせる支援
 ・あいさつ運動の継続

④自分づくり友だちづくりと社会性の向上
 ・「子どもの権利条例」の趣旨を生かした人権尊重教育
 ・共生共育プログラムを年間計画に基づき全学級で実施

①支援体制の確立と推進
 ・支援教育コーディネーターを中心に組織的な対応を心がけた全職員による支援教育の推進
 ・サポーターやボランティアの確保と運用
 ・教育相談、ケース会議の充実

②児童指導体制の充実
 ・野川スタンダードの共通理解
 ・報告連絡相談などの組織的で共通認識をもった対応

③いじめを許さない体制づくり
 ・いじめ等の早期発見と早期対応
 ・いじめ防止基本方針の策定

④防犯防災体制の確認と情報モラル教育の推進
 ・児童の安全を最優先した非常時の準備と訓練の実施
 ・安全安心に向けた保護者、地域近隣校との連携強化
 ・情報モラルや防犯教育の推進

①連携教育の推進
 ・幼稚園保育園との交流推進
 ・野川中学校区の連携の強化

②保護者や地域の教育力の活用
 ・保護者との連携強化と教育ボランティアの活用
 ・地域学習材や地域協力者を積極的に学習に取り入れた地域との理解と交流の推進

③開かれた学校づくりの推進
 ・学校評価をもとにマネジメントを計画的に進め、全職員による共通理解と保護者、地域への報告
 ・学校運営協議会等の充実
 ・幅広い学校からの情報発信

キャリア在り方生き方教育の推進
 全体計画・年間指導計画・推進体制

学校評価
 (教職員・児童生徒・保護者・学校関係者・外部協力者)

| | | | | | |
|-------------|---------|---------|-----------|----------|----------|
| 指導体制 (4 部会) | コミュニティ | 地域 | ボランティア | 学校施設有効活用 | 外部連携組織 |
| 校内研究 | 学校運営協議会 | 子ども見守り隊 | 図書ボランティア | 施設開放委員会 | 教育委員会 |
| 児童理解 | | 地域教育会議 | 飼育ボランティア | | 宮前区役所 |
| 学校評価・教育課程 | | 安全安心協議会 | トイレボランティア | | 宮前警察署 |
| 児童会 | | 子ども110番 | 読み聞かせ | | 児童相談所 |
| | | | | | 児童家庭センター |

目標達成・教育活動を支える基盤